

6月議会 総括質問 (山田 守議員)

「避難準備・高齢者等避難開始」発令の経緯は フリーデェヴァアの拠点施設としてのあり方は

鶴岡市議会6月定例会が13日開会されました。13日の総括質問で日本共産党の山田守議員は、①鶴岡市の災害対応、②経済・雇用情勢、③フリーデェヴァアについて、市当局の対応を質しました。(市の答弁は次号に掲載します)

河川の排水・浚渫等の防災対策は



① 「避難準備情報」発令の経緯について

「避難準備情報」の規定の明文化、避難勧告の客観的な基準やその発令範囲の目安が示されたが、その後も「避難勧告の発令をためらう」というケースが後を絶たっていない。

藤島地域での大雨・土砂災害警報発令では、結果として避難所への避難はなかったが、地元の消防団や自治会役員らは近くの公民館に待機し、川の水位の監視を強化した。これまでの大雨災害の経過を踏まえ、今回の「避難準備・高齢者等避難開始」の発令経緯について伺いたい。

② 長沼地区の排水ポンプ設置の前倒しと排水対策について

長沼地区では藤島川

からの逆流を防ぐ温泉の彦九郎堰水門を閉じて、排水ポンプ稼働による排水を緊急に国土



5月18日大雨時の彦九郎水門

交通省に依頼している。5月の排水ポンプ稼働は異例。今後の設置時期の前倒しの検討について、長沼地区の排水対策の見直しはどうなっているか。

③ 河川の浚渫、支障木の撤去について

2年前の台風9号による床上・床下浸水被害があり、その後県による京田川浚渫、支障木の撤去作業が行われた。大雨被害の予防に大きな効果のある河川の浚渫や支障木の撤去について、現状と今後の課題を伺う。

「正社員化促進奨励金」で変化は

① 「正社員化促進事業奨励金」について

雇用については、依然として雇用者に占める非正規雇用が約4割と不安定雇用が大きな割合となっている。

鶴岡市は「正社員化促進事業奨励金」制度を新設した。この制度が運用される中での

ような変化が生まれているか伺う。

② 本市の正規・非正規の労働実態について

非正規労働や国会で論議されている働き方改革法案、地方公務委員に対しては、会計年度任用制度の運用開始される予定。

本市の正規・非正規の労働実態についてどのような状況にあると考えるか。

また、鶴岡市では、今後の非正規の公務労働も含めた非正規雇用についてどのような改善策が必要だと考えているか、働き方改革一括法案の影響も含め、市長の認識を伺う。

食文化創造、市民要求汲み尽くせ

① フリーデェヴァアの経費見直しについて

鶴岡市は施設共益費について新たに約500万円を負担するとしている。

フリーデェヴァアの経費負担の見直しに至る経過について市当局がどのように総括しているのかに伺う。

また、市長はこの間の経緯と今後の食文化創造の拠点施設としてあり方についてどう考えているのか。これまでの対応策の他にどのような対応を検討しているのか。

いるのか。

② 今後の食文化創造の振興策について

今後の食文化創造の拠点としての新たな視点、観光客だけでなく、抜本的な集客の改善のためには、市民要求をどれだけ汲み尽くせるかが問われている。このことが、市長の掲げる市民との共同、市民参加につながると考える。

今後の具体的な振興策についてどのように考えるのか。

訂正

前号(6月10日付)の記事中、「第2回市都市計画審議会 市民文教専門委員会」と記載しましたが、「第2回市総合計画審議会 市民文教専門委員会」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



1階にフリーデェヴァア出店しているマリカ東館フリーデェヴァアの大きな看板が掲出されている

弾圧・冤罪事件支援、会員拡大を

国民救援会鶴岡支部第36回定期大会



菅井市議が来賓挨拶(9日、第四コミセン)

出席者から 出陣者から 71回解放運動無名戦士 合同追悼会で、全国1 073人、山形県から 12人、鶴岡支部から次 の4人が新たに合葬さ れたことが報告されま した。

・関幸助氏(82歳)
鶴岡市職労執行委員

長、鶴岡市議6期
・長谷川侃氏(77歳)
全国生協連委員長、
党鶴岡地区居住支部長
・若林喬二氏(89歳)
党山形県委員会副委 員長、委員長
・脇山弘氏(82歳)
弁護士、勤労者の人権 擁護と原発反対闘争

消防団が各種水防工法を訓練

鶴岡市水防訓練が9日、赤川河川敷で行われ



この間の大雨では、 藤島地域の川が 氾濫危険水位を 越える事態にな り農地の冠水被 害や、温海地域 では民家裏の土 砂が崩れ、家屋 1軒が一部損壊 する被害が発生 するなかでの訓 練となりました。

鶴岡市消防団 により、各種水 防工法が実践され、土 のう積みや法面の深掘 れを防ぐシート貼り工 法、河川の流速を低減 する木流し工法、漏水 対策を施し堤防決壊防 止する釜段工法などが 実践されました。

山田守市議が来賓と して出席しました。

土木課入札結果 () 内は予定価格

6月7日入札分
・平成29年災 第2751号 市道添川筋沢線道路災害復旧工事(添川地内)(入札3業者)
(株)ヤマムラ 2,960,000円 (3,108,000円) 工期~10/30 (落札率95.24%)

建築課入札結果 () 内は予定価格

6月7日入札分
・市榊引生涯学習センター耐震診断業務委託(上山添文栄90)(入札10業者)
(株)総建築設計事務所 2,900,000円 (3,030,000円) 期間~12/19 (落札率95.71%)

日本共産党市議団一般質問

18日(月)午後1時30分ごろ~

(他議員の質問時間により前後する場合があります)



坂本昌栄 議員

- ①ひきこもり対策について
- ②腹膜透析及び、医療依存度の高い高齢者の介護について



長谷川剛 議員

- ①通学路の安全対策について
- ②商店街の活性化について



菅井 巖 議員

- ①道路除雪対策について
- ②地域振興対策について
- ③認知症、徘徊対策について

19日(火)午前10時~



加藤鉦一 議員

- ①上荒俣、細谷線の道路整備について
- ②敬老会の見直しについて
- ③学校給食について



山田 守 議員

- ①水道料金の検討について

日本国民救援会鶴岡支部の第36回定期大会が9日、第四学区コミュニティセンターで開催されました。五十嵐良夫支部長は日本国民救援会が戦中・戦後の活動を経て90周年を迎えた事を紹介。支部として岡山・倉敷民商弾圧事件、秋田大仙市冤罪事件、明倫中事件支援等の取り組みや、会員拡大に取り組んでゆく事が提案されました。

3月18日に東京・青山葬儀所で行われた第 山葬儀所で行われた第 いる事が報告され、支援する会を再開し無実を晴らすために再審を求めてゆく事が必要と述べられました。来賓として山田守、坂本昌栄、菅井巖の3市議が出席し、菅井市議が市議団を代表して挨拶をしました。

解放運動無名戦士、鶴岡から4人合葬